『将棋を世界に広める会』創立30周年･NPO法人化25周年記念行事を振り返って

理事　石黒恒夫

1995 年、故眞田尚裕前理事長の“将棋を世界に広めていきたい”という当時としては無謀とも思える呼びかけに応じた有志が糾合し、『将棋を世界に広める会』は産声をあげました。爾来、日本の将棋を一人でも多くの世界の人々に知ってもらい、楽しんでもらいたいとの夢（目標）を実現するため、世界の様々な国々で将棋の普及活動を推進してきました。2000 年には非営利活動法人（NPO 法人）の資格を取得し、会員の数も増えていきました。

2025 年、本会は創立 30 周年･NPO 法人化 25 年を迎えました。発足以来 30 年の歩みを振り返ると共に将棋の国際普及の将来像を探ることを企図して、創立 30 周年･NPO 法人化 25 周年記念行事を開催する運びとなりました。2015 年の創立 25 周年記念行事以来 10 年ぶりのことです。この機会に長年にわたり本会の活動を支えてこられた会員をはじめ多くの方々への感謝の意をお伝えすると同時に、皆様との情報共有を図ることができたならば、これに勝ることはありません。

メインの記念行事は 2025 年 11 月 29 日（土）午後 2 時より 4 時まで東京都江東区古石場文化センター大研修室を会場に、下記の式次第で行われました。参加者は登壇者を含め 80 余名でした。

① 挨拶（30 周年を迎えて）　山田彰 ISPS 理事長
② ご祝辞紹介
③ 第三回世界子ども将棋団体戦表彰式、青野九段による大将戦のポイント講評
④ 基調講演　青野照市九段（ISPS 顧問）
⑤ パネルディスカッション
テーマ：「将棋の世界普及への新たな展開」
パネリスト：　森下卓九段（日本将棋連盟常務理事、普及担当）
小林健二九段（ISPS 顧問）
北尾まどか女流二段（ISPS 会員、株式会社ねこまど代表）
川崎智秀氏（ISPS 会員、将棋対戦サイト「81 道場」代表）
北　昌宏氏（ISPS 理事）
モデレータ：　山田　彰 ISPS 理事長

基調講演の青野九段、5 人のパネリストは、それぞれ将棋の国際普及の現場における経験をベースに、将棋を世界に広める意義、今後の展望・課題について熱く語っていただきました。

また、記念行事プログラムの一環として、「第三回都市対抗世界子ども将棋団体戦（北米・中南米地区）の決勝戦、カリフォルニア・チーム対ニュージャージー・チームの対局が同日午前 10 時 30 分より同じく古石場文化センター第一研修室で行われ、青野九段、飯島八段、高田七段や付き添いの家族の方々、会員、役員ら 40 名を超える人が観戦しました。熱戦の結果、カリフォルニア・チームが３－０で優勝を飾りました。

記念行事の最後の締めとなる懇親会は式典会場から歩いて５分ほどの「デイナイスホテル東京」で同日午後５時半より開催され、43 名の方が参加されました。棋士の方や、会員、役員、一般の方も加わり、和気藹藹の楽しい宴になりました。新しい交流の輪が広がる切っ掛けになればと期待したいと思います。

世界子ども将棋団体戦・決勝戦

記念行事会場風景（古石場文化センター大研修室）

デイナイスホテル東京での懇親会